

宮城県内の直轄国道における雪崩緊急点検結果について

～雪崩のシーズンに備え～

平成24年2月24日（金）、宮城県内の国道47号、48号において、専門家と
合同の雪崩点検を実施した結果、今回の点検においては雪崩発生危険性や、
早急な対策が必要な斜面は確認されませんでした。引き続き目視点検等を実施
することとしています。

なお、今後とも降雪や路面凍結等が予測されますので、引き続き安全運転に
ご協力をお願いします。

○点検実施日 : 平成24年2月24日（金）

○点検箇所 : 国道47号 大崎市尿前～大崎市鳴子温泉字西原（2箇所）
国道48号 仙台市青葉区作並（5箇所）

○点検方法 : 雪崩対策専門家及び職員による目視点検

雪崩対策専門家 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所
阿部支所長（博士）、佐藤研究員

○点検結果 : 別紙-1を参照願います。

* 発表記者会等

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話番号：022-248-4131

道路担当副所長 おくやまえいじ 奥山英治（内線206）

道路管理第二課長 ただしげお 武田滋生（内線441）

雪崩緊急点検実施結果

宮城県内の直轄国道沿線の累加降雪量は、いづれも過去5ヶ年平均を大きく上回る降雪量となっており、これからの時期は気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。

仙台河川国道事務所では、これまでも雪崩予防・防止対策として、雪崩防止柵等を設置するとともに、道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

仙台河川国道事務所管内の代表地点の累加降雪量（数値は各年とも 2/20 現在）

・鳴子観測所(仙台)	H24: 671cm(5ヶ年平均 467cm)	H23:661cm	H22:488cm
・作並観測所(仙台)	H24: 573cm(5ヶ年平均 336cm)	H23:441cm	H22:394cm

点検箇所位置図



▲雪崩点検箇所



▲雪崩点検実施状況



▲雪庇処理前



▲雪庇処理後

◆雪崩緊急点検実施結果

- 国道47号・48号の雪崩等の発生が予想される斜面を点検した結果、今回は雪崩発生の高危険性は高い箇所はありませんでした。
- 早急に対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し、雪崩予防対策として堆雪ポケットの確保、雪庇処理等の対策を行っていくこととしております。